



# はぐ便り

2022年  
7月号  
【第94号】



## 『生きる力』を育てるために



子どもたちに『生きる力』をはぐくむためには、自然や社会の現実に触れる実際の体験が必要です。子どもたちは具体的な体験をよりどころに、感動したり、驚いたりしながら、「なぜ？ どうして？」と考えを深める中で、実際の生活や社会、自然の在り方を学び、自らを高め、よりよい生活を創り出していきます。体験は子どもたちの成長の糧であり、生きる力をはぐくむ基礎となっています。

### 体験活動って何？

体験活動とは、文字どおり、「自分の身体を通して経験する活動」のことです。子どもたちは幼少期から身体全体を使って様々な対象に働きかけながら、経験を積み重ねていきます。

### 体験活動にもいろいろあるよ！ 体験活動には3つの種類があると言われています！



#### ① 直接体験

対象となる実物に実際に関わる。

#### ② 間接体験

インターネットやテレビ等を介して感覚的に学びとる。

#### ③ 疑似体験

シミュレーションや模型等を通じて模擬的に学ぶ。

### 大事にしたいのは「直接体験」！

インターネットの普及や生活様式の急激な変化により、「間接体験」や「疑似体験」の機会が圧倒的に多くなった今、子どもたちの成長にとって、マイナスの影響を及ぼしていることが懸念されています。だからこそ、大事にしたいのは、モノやヒトなど実社会に触れ、かかわり合う「直接体験」です。

### 体験活動の効果は、こんなにたくさん！

体験活動は、豊かな人間性、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」の基盤、子どもの成長の糧としての役割が期待されており、特に直接体験が必要であるとされています。直接体験を積み重ねていくと、次のような効果があります。



- ① 身近なことへの興味・関心が高まり、意欲が向上します↑Up!
- ② 自分で問題を発見し、その問題を解決する力が育ちます
- ③ 考える力や理解する力が育ちます
- ④ 学校で学んだことが、普段の生活に生かされます
- ⑤ 達成感や自尊感情が育ちます
- ⑥ 社会性が育ち、友達と共に生きる力が育ちます
- ⑦ 心豊かな人間性や価値観が形成されます
- ⑧ 基礎的な体力が付き、心も身体も健康になります



★ 直接体験の効果、すごいですね！もうすぐ、子どもたちの楽しみにしている夏休みが始まります。家族で野外に出かけて自然と触れ合ったり、スポーツで汗を流したりと、たくさんの直接体験をさせませんか？夏休みに向けて、各公民館や区界高原少年自然の家などでも数多くの体験の場が用意されています。家族そろって参加してみましょう。

盛岡市家庭教育情報通信『はぐ便り』

2022年7月号【第94号】 令和4年7月15日発行

発行者・問合せ 盛岡市教育委員会 生涯学習課

住所：盛岡市津志田14-37-2 TEL：019-639-9046

E-mail: edu.sgs@city.morioka.iwate.jp